

2021年3月3日

アクションプランの取組状況

令和2年度第3四半期（10月～12月）のアクションプランの取組状況をご紹介します。

アクションプランに対する地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、10月下旬から警戒ステージが引き上げられ、引き続き感染拡大防止への取り組みが求められますが、地域の皆様と一体となって線区の活性化に取り組んでまいります。

※ アクションプランについては当社ホームページに掲載していますのでご参照ください。

1. 取組状況について

- 第3四半期（10月～12月）も新型コロナウイルスの影響で地域の皆様が計画されていた各種イベントが中止となり、アクションプランの取組も多くを中止せざるを得ませんでした。
- そのような状況ではありますが、「北海道鉄道140年記念列車」や「くしろ湿原ノロッコ号」延長運転にあわせ、地域の皆様にご利用のお客さまへの歓迎おもてなしを実施していただき、鉄道の利用促進に取り組みました。
- 地域の皆様のご理解とご協力に深く感謝を申し上げます。

2. 今後の進め方について

- 新型コロナウイルス感染の影響により、今後もアクションプランの取組への影響が続くと想定されますが、感染防止に最大限留意しながら、引き続き地域の皆様と取り組んでまいります。
- アクションプランの検証を行う際には、新型コロナウイルスが及ぼした影響を踏まえた検証となるように進めてまいります。

釧網線(釧路～網走間)

「くしろ湿原ノロッコ号」川湯温泉駅まで延長運転
(10月3日撮影・川湯温泉駅)



川湯温泉駅は、お客様に大変好評であることから「くしろ湿原ノロッコ号」を当駅まで延長運転しました。標茶駅ではノベルティの配付やご当地キャラクターが出迎え、川湯温泉駅では、弟子屈町産ワイン試飲会を開催するなど、地域の皆様によるおもてなしを行いました。

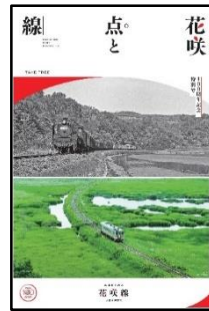
「鉄ちかサイクル特集」の制作、釧網線観光スポットをPR



オホーツク総合振興局が、釧網線の利用促進のため、鉄道とレンタサイクルを組み合わせた旅の提案を行う「鉄ちかサイクル特集」を制作しました。網走駅、浜小清水駅、知床斜里駅、清里駅などにチラシを設置し、期間限定の割引キャンペーンを行うなど、利用促進に取り組みました。

花咲線(釧路～根室間)

「地球探索鉄道花咲線」タブロイド紙の発行



2021年8月5日にJR根室本線全通100周年を迎えるにあたり、タブロイド紙「花咲 点と線」記念特別号を発行しました。花咲線100年の歴史やファンからのお祝いメッセージ等を盛り込んだタブロイド紙は、沿線の根室駅、厚岸駅、釧路駅のほか、札幌駅と新千歳空港駅に設置し、花咲線をPRしました。

浜中町地域公共交通網形成計画の実施

(10月撮影・茶内駅)



浜中町は、町民の交通手段確保のため地域公共交通網計画を策定し、10月1日よりバス運行を開始しました。「茶内駅」と「霧多布温泉ゆうゆ」を結ぶ町営バス(霧多布湿原線)は、花咲線の全ての列車と接続するよう改善され、お客さまの利便性が向上しました。

石北線(旭川～網走間)

北海道140年記念列車おもてなし実施

(10月25日撮影・網走駅)



北海道鉄道140年記念列車として10月24日、25日に特急オホーツクと特急大雪を多目的特急車両「はまなす」編成で運行しました。旭川駅と網走駅では、ご当地キャラクターや自治体の皆様によるお出迎えとお見送りを実施し、石北線の魅力をPRしました。

宗谷線(旭川～稚内間)

士別駅で駅業務体験学習を実施

(10月18日撮影・士別駅内)



10月18日、士別駅にて駅業務体験学習を実施しました。小学生11名が改札や放送案内などの駅の業務を体験し、楽しみながら鉄道の仕事について学び、鉄道への関心を高めていただきました。

「冬のJR石北本線フォトギャラリーコンテスト」の開催



石北線の維持存続及びマイルール意識の醸成を目的とし、JR石北本線フォトギャラリーコンテストを開催しました。12月1日からは冬の写真の募集を開始し、石北線への関心を高める取り組みを1年を通して継続実施しています。

北海道140年記念列車お出迎えの実施

(11月14日撮影・稚内駅)



11月14日、15日、北海道鉄道140年記念列車として特急宗谷を多目的特急車両「はまなす」編成で運行しました。稚内駅ではお出迎え、歓迎横断幕の設置などを行い、宗谷線の魅力をPRしました。

富良野線(富良野～旭川間)

富良野線120周年記念日帰り団体ツアーの実施 (10月10日撮影・上富良野駅)



10月10日に富良野線120周年記念企画として観光列車「山紫水明」号を使用した旭川から富良野への日帰り団体ツアーを実施しました。停車駅では、ご当地キャラクターや沿線の皆様によるお出迎えとお見送りを行いました。

「駅ピアノあさひかわ」の実施 (10月1日撮影・旭川駅)



旭川駅内スペース活用の取組として、10月1日から11月3日まで旭川駅東コンコースにピアノを設置しました。鉄道利用以外の方も気軽にご利用できるスポットとして大変ご好評をいただきました。

根室線(滝川～新得間)

ご利用の少ない踏切の見直し (11月撮影・赤平市内)



根室線赤平～茂尻間の「21線踏切」について、赤平市と協力し踏切の利用調査を行い、ご利用が少ないことが確認され、地域の皆様のご理解を得られたことから、11月25日をもって廃止しました。

令和3年度モニターバス運行に向けた検討実施



項目	内容
1. 運行ルート	旭川駅東コンコース～旭川駅前～旭川駅前～旭川駅前～旭川駅前
2. 運行日時	令和3年10月1日～11月3日
3. 運行区間	旭川駅東コンコース～旭川駅前
4. 運行回数	1日1回
5. 運行車両	トヨタ自動車製ミニバス
6. 運行目的	観光ルート充実を目的として、9月の土・日・祝(計8日間)に運行したトマムと富良野エリアを結ぶモニターバスについて、ご利用者アンケートの集計・分析を行い、地域の関係者と次年度の運行について、改善点や利用促進策などを協議しました。

観光ルート充実を目的として、9月の土・日・祝(計8日間)に運行したトマムと富良野エリアを結ぶモニターバスについて、ご利用者アンケートの集計・分析を行い、地域の関係者と次年度の運行について、改善点や利用促進策などを協議しました。

室蘭線(苫小牧～岩見沢間)

地域が主体となった団体臨時列車お出迎えイベント実施 (10月18日撮影・追分駅)



10月17日、18日『北海道鉄道140年記念号で行く「炭鉄港」を巡る旅』にあわせ、JR室蘭線活性化連絡協議会、炭鉄港推進協議会や観光協会等と連携し、停車駅にて沿線地域の特産品販売やPRイベント等を実施しました。

一部列車を運休して線路集中メンテナンスを実施 (11月9日撮影・沼ノ端～追分間)



鉄道施設を維持するために11月9日～13日、追分駅～沼ノ端間で一部列車を運休し、線路集中メンテナンスを実施しました。約2,000本の木製マクラギを交換して線路の状態を改善しました。

日高線(苫小牧～鷓川間)

定期券助成による列車通学を下期も継続 (10月22日撮影・鷓川駅)



むかわ町は、令和元年度から苫小牧市内から北海道鷓川高校へのスクールバス通学を取り止め、定期券助成を実施し、JR利用へシフトする取り組みを行っています。令和2年度下期も61名の生徒がJRを利用しています。

公共交通利用促進ポスター作成・掲示 (11月22日イベント開催)



苫小牧市は公共交通の利用促進のため11月22日「JRヘルシーウォーキング2020」の苫小牧開催にあわせ、会場までの鉄道やバス時刻を掲載したポスターを作成し、日高線沿線の駅及び公共施設に掲出しました。